【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公開番号】特開2004-213041(P2004-213041A)
【公開日】平成16年7月29日(2004.7.29)
【年通号数】公開・登録公報2004-029
【出願番号】特願2004-75731(P2004-75731)
【国際特許分類】
　Ｇ１０Ｋ　15/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｇ１０Ｋ　15/04　　３０２Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月19日(2007.9.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　操作制御部と、演奏制御手段と、中央制御部を備え、ネットワークを介してサーバーコンピュータと通信可能なカラオケ装置であって、
　サーバーコンピュータは、個人ＩＤと楽曲ＩＤと操作履歴データの対応付けを複数記憶し、
　操作制御部は、利用者から演奏する楽曲ＩＤと個人ＩＤを対応付けて受け付け可能であるとともに、各種操作に応じた操作制御情報を受け付け可能とし、
　演奏制御手段は、音楽生成データの演奏を行うとともに、与えられる操作制御情報に従って演奏状態を制御し、
　中央制御部は、操作制御部が受け付けた楽曲ＩＤに対応する音楽生成データを演奏制御手段に演奏させるとともに、操作履歴作成処理と、操作履歴取得処理と、操作再現処理を可能とし、
　操作履歴作成処理は、音楽生成データの演奏中、受け付けた操作制御情報の時系列を該当の楽曲ＩＤおよび該当の個人ＩＤに対応付けて操作履歴データとしてサーバーコンピュータに送信して記憶させ、
　操作履歴取得処理は、操作制御部が受け付けた楽曲ＩＤと個人ＩＤに対応付けされた操作履歴データをサーバーコンピュータから取得し、
　操作再現処理は、音楽生成データの演奏中、該当の楽曲ＩＤおよび該当の個人ＩＤに対応付けされた操作履歴データの操作制御情報を読み出して演奏制御手段に時系列に与える
　カラオケ装置。
【請求項２】
　操作制御部と、演奏制御手段と、歌唱音声制御手段と、中央制御部を備え、ネットワークを介してサーバーコンピュータと通信可能なカラオケ装置であって、
　サーバーコンピュータは、個人ＩＤと楽曲ＩＤと操作履歴データの対応付けを複数記憶し、
　操作制御部は、利用者から演奏する楽曲ＩＤと個人ＩＤを対応付けて受け付け可能であるとともに、各種操作に応じた操作制御情報を受け付け可能とし、
　演奏制御手段は、音楽生成データの演奏を行い、
　歌唱音声制御手段は、与えられる操作制御情報に従ってマイクロホンから入力される歌

唱音声の音響出力状態を制御し、
　中央制御部は、操作制御部が受け付けた楽曲ＩＤに対応する音楽生成データを演奏制御手段に演奏させるとともに、操作履歴作成処理と、操作履歴取得処理と、操作再現処理を可能とし、
　操作履歴作成処理は、音楽生成データの演奏中、受け付けた操作制御情報の時系列を該当の楽曲ＩＤおよび該当の個人ＩＤに対応付けて操作履歴データとしてサーバーコンピュータに送信して記憶させ、
　操作履歴取得処理は、操作制御部が受け付けた楽曲ＩＤと個人ＩＤに対応付けされた操作履歴データをサーバーコンピュータから取得し、
　操作再現処理は、音楽生成データの演奏中、該当の楽曲ＩＤおよび該当の個人ＩＤに対応付けされた操作履歴データの操作制御情報を読み出して歌唱音声制御手段に時系列に与える
　カラオケ装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
　第１発明に係るカラオケ装置は、分説すると、つぎの事項（１）～（８）により特定されるものである。
（１）操作制御部と、演奏制御手段と、中央制御部を備え、ネットワークを介してサーバーコンピュータと通信可能なカラオケ装置であること
（２）サーバーコンピュータは、個人ＩＤと楽曲ＩＤと操作履歴データの対応付けを複数記憶すること
（３）操作制御部は、利用者から演奏する楽曲ＩＤと個人ＩＤを対応付けて受け付け可能であるとともに、各種操作に応じた操作制御情報を受け付け可能とすること
（４）演奏制御手段は、音楽生成データの演奏を行うとともに、与えられる操作制御情報に従って演奏状態を制御すること
（５）中央制御部は、操作制御部が受け付けた楽曲ＩＤに対応する音楽生成データを演奏制御手段に演奏させるとともに、操作履歴作成処理と、操作履歴取得処理と、操作再現処理を可能とすること
（６）操作履歴作成処理は、音楽生成データの演奏中、受け付けた操作制御情報の時系列を該当の楽曲ＩＤおよび該当の個人ＩＤに対応付けて操作履歴データとしてサーバーコンピュータに送信して記憶させること
（７）操作履歴取得処理は、操作制御部が受け付けた楽曲ＩＤと個人ＩＤに対応付けされた操作履歴データをサーバーコンピュータから取得すること
（８）操作再現処理は、音楽生成データの演奏中、該当の楽曲ＩＤおよび該当の個人ＩＤに対応付けされた操作履歴データの操作制御情報を読み出して演奏制御手段に時系列に与えること
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
　第２発明に係るカラオケ装置は、分説すると、つぎの事項（11）～（19）により特定されるものである。
（11）操作制御部と、演奏制御手段と、歌唱音声制御手段と、中央制御部を備え、ネットワークを介してサーバーコンピュータと通信可能なカラオケ装置であること

（12）サーバーコンピュータは、個人ＩＤと楽曲ＩＤと操作履歴データの対応付けを複数記憶すること
（13）操作制御部は、利用者から演奏する楽曲ＩＤと個人ＩＤを対応付けて受け付け可能であるとともに、各種操作に応じた操作制御情報を受け付け可能とすること
（14）演奏制御手段は、音楽生成データの演奏を行うこと
（15）歌唱音声制御手段は、与えられる操作制御情報に従ってマイクロホンから入力される歌唱音声の音響出力状態を制御すること
（16）中央制御部は、操作制御部が受け付けた楽曲ＩＤに対応する音楽生成データを演奏制御手段に演奏させるとともに、操作履歴作成処理と、操作履歴取得処理と、操作再現処理を可能とすること
（17）操作履歴作成処理は、音楽生成データの演奏中、受け付けた操作制御情報の時系列を該当の楽曲ＩＤおよび該当の個人ＩＤに対応付けて操作履歴データとしてサーバーコンピュータに送信して記憶させること
（18）操作履歴取得処理は、操作制御部が受け付けた楽曲ＩＤと個人ＩＤに対応付けされた操作履歴データをサーバーコンピュータから取得すること
（19）操作再現処理は、音楽生成データの演奏中、該当の楽曲ＩＤおよび該当の個人ＩＤに対応付けされた操作履歴データの操作制御情報を読み出して歌唱音声制御手段に時系列に与えること
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】